

# さがSociety5.0推進事業

政策チーム 83,072千円

## 目的・背景

Society5.0に向けて、佐賀を実証フィールドとして先進技術にチャレンジし、地域課題の解決や新たな価値の創造を目指す。

## 事業内容

### サンライズストリートでの実証

新たな移動手段

自動運転バス



### SAGAアリーナでの実証

新たな通信基盤

ローカル5G

(高速無線)



審判にカメラ設置等、臨場感ある映像を配信

ロボットの遠隔操作による展示会等への参加



### WEB3へのチャレンジ支援

NFT等を活用した地域づくりへのチャレンジを支援

WEB3実践講座



NFT発行

新たな関係人口

関係人口と共に地域づくり活動

### アイデア共創の場づくり

官民の垣根を超え、アイデアを出し合う

デジタルSAGAプレゼン大会

県・市町職員によるDXの気づき・実践の場

県市町職員研究会 dx21



※1 ローカル5G：携帯電話会社の通信ではなく、自己の通信設備で安定的に5Gの高速大容量・低遅延の無線通信を行うこと  
 ※2 WEB3：デジタル通貨やNFT（Non Fungible Token：デジタル上で真正性や所有者を証明できるコンテンツ）を活用した新しいデジタル経済やコミュニティ活動の総称

## 事業期間

令和3年度～（2021年度～）

# 新規 県立大学設置準備事業

企画チーム 8,000千円

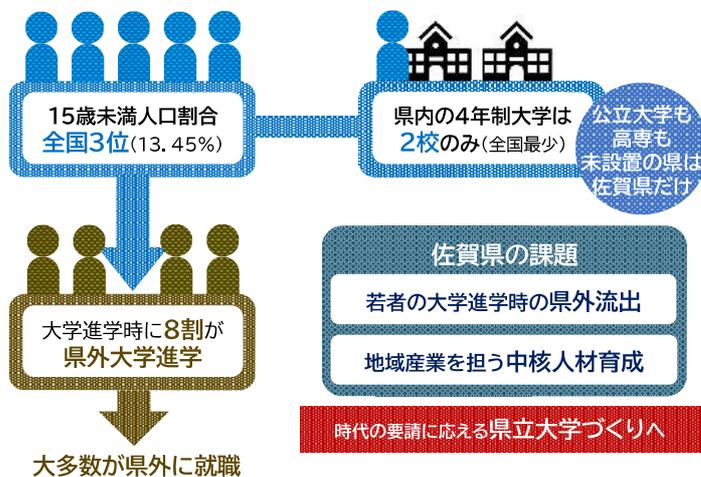
## 目的・背景

本県は、15歳未満の人口割合が全国3番目に高く、子どもが多いにもかかわらず、大学進学時に8割以上が県外に進学しており、佐賀県で学び、活躍したいと思う子どもにとって機会損失を招いている状況のため、「県立大学の基本的な考え方」に沿って、時代の要請に応える実践的人材を育成する県立大学設置に向けた「基本構想」を策定する。

## 事業内容

### 県立大学設置に向けた「基本構想」の策定

- 各種調査等  
基本構想策定に向け必要な情報収集や各種調査等の実施
- 実務家会議  
基本構想策定のため大学教育等に精通した実務家会議の開催



## 事業期間

令和5年度～（2023年度～）

# 新規 SAGAサステナブル・イノベーション事業

企画チーム 8,831千円

## 目的・背景

持続可能な社会を実現するため、地域や企業の新しいモデルを生み出すチャレンジに参画・支援し、そのモデルを県内に波及させる。

## 事業内容

**取組 1** 企業・大学と連携し、廃バッテリーを活用したグリーン電力供給等の実証実験

**取組 2** 「持続可能な地域づくり」モデルの調査分析、事業支援

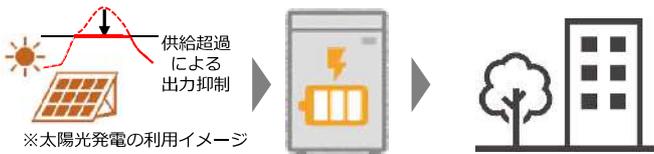
未活用再生可能エネルギーの蓄電

グリーン電力の供給体制構築

「持続可能な地域づくり」モデルの要素

持続可能な取組

未来に向けた地域づくり



出力抑制などによる未活用再生可能エネルギーに着目

廃バッテリーから蓄電ファーム（未活用再生可能エネルギーを蓄電）を構築

蓄電ファームから住民や企業へグリーン電力を供給

(例) 地域資源を活用した小水力発電

(例) 売電収益を活用し、地域の活性化を促進する事業にチャレンジ



具体的な取組を支援しながら、調査・分析を行い、モデル構築のためのナレッジを蓄積し、県内への展開を目指す



事業期間 令和5年度～（2023年度～）

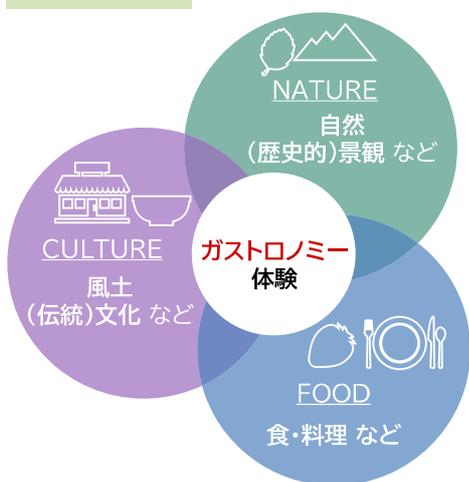
# 新規 ガストロノミーツーリズム推進事業

企画チーム 12,832千円

## 目的・背景

食を中心に多様な地域資源を組み合わせ高付加価値の体験型コンテンツを創出し、地域の価値を高めることにより誘客につなげるとともに地域経済の好循環を目指す。

## 事業内容



自然景観 唐津食材 唐津料理人 唐津焼

JINYA no UTAGE(仮称)

150のテーブルを屋外に並べ、地元料理人が地元食材や器を使って特別な料理を提供



佐賀食材 佐賀拉麺 有田焼

ラーメンフェスタSAGA(仮称)

佐賀ラーメンのルーツ・魅力を紹介 佐賀ラーメンと全国有名店のラーメンを有田焼で提供



※ ガストロノミーツーリズム：その土地の気候風土が生んだ習慣、伝統、歴史などによって育まれた食や食文化を体験することを目的とした旅行

事業期間 令和5年度（2023年度）

## 新規 地域住民の防災力サポート事業

危機管理防災課 6,550千円

### 目的・背景

災害支援に関する中間支援組織(※1)と連携し、自主防災組織(※2)に対する研修等を行い、地域防災力の更なる向上を図る。

### 事業内容

県内全域で災害支援を行う中間支援組織と連携し、自主防災組織に対して、専門的な研修や、きめ細かい支援を実施



※1 中間支援組織：行政・CSO・被災者間での調整や連携を支援する団体

※2 自主防災組織：自治会などで地域住民が協力して、自分たちの街は自分で守ることを目的に、日頃から様々な活動を行う団体

### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

## 新規 学びたい私学応援事業

法務私学課（私立中高・専修学校支援室） 48,684千円

### 目的・背景

県内・県外を問わず広く生徒募集活動を実施し、一人でも多くの生徒を確保する取組を支援することで、私立高等学校の更なる活性化を図る。

### 事業内容



### 事業期間

令和5年度～令和7年度（2023年度～2025年度）

## 新規 くらしを支える移動手段支援事業

さが創生推進課 63,421千円

### 目的・背景

地域住民の日常生活に不可欠な移動手段の利用促進及び利便性向上に取り組む市町を支援することで、くらしを支える移動手段の確保・維持を図る。

### 事業内容



### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

## 新規 人材確保プロジェクト推進事業

【新規】人材確保プロジェクト推進事業費  
【新規】UJIターン人材確保支援事業費

さが創生推進課(移住支援室) 7,420千円  
産業人材課 15,448千円

### 目的・背景

大都市圏から地方への関心が高まっている状況を踏まえ、県内出身者の多い都府県においてUJIターン人材確保の取組を行うことで、佐賀への人の流れをつくり、佐賀に暮らし、地域の将来を担う人材を確保する。

### 事業内容

区分	内容
佐賀さいこう！ 「暮らし&しごと」 体感フェアin東京	①市町ブース：各市町の暮らしや支援策の紹介 ②企業ブース：県内企業の仕事紹介（20～30社） ③相談ブース：「さが移住サポートデスク」「ジョブカフェSAGA」による移住・就職相談 ④移住者との座談会・相談会 ⑤農林業ブース：農林業への新規就業等に係る支援策の紹介、相談※ ⑥起業ブース：起業に係る説明、相談※
佐賀の仕事と暮らし まるごと相談会in大阪	⑦学生向け「1 Dayインターンシップ」（10社）を同時開催※ ※⑤～⑦は、佐賀さいこう！「暮らし&しごと」体感フェアin東京のみでの実施
佐賀の仕事と暮らし まるごとWeb相談会	県内企業の仕事紹介及びUJIターン社員による座談会・相談会 社会人向け・学生向け各2回、5社/回
サガシルin福岡	県内出身学生と県内企業との交流会及びワークショップ 2回、5社/回

### 事業期間

令和5年度～令和8年度  
（2023年度～2026年度）



## 鹿島太良地域振興事業

長崎本線沿線地域振興事業費  
肥前鹿島駅エリアプロデュース事業費  
【新規】肥前鹿島駅周辺整備費

交通政策課 55,420千円  
まちづくり課 8,120千円

### 目的・背景

鹿島・太良などの長崎本線沿線地域において、観光促進や駅の利便性向上により、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

### 事業内容

- 肥前鹿島駅周辺整備の推進
  - ・駅エリア全体の基本計画・基本設計
  - ・エリアプロデュースに係る広報
  - ・駅前道路の詳細設計等



現在の肥前鹿島駅舎・駅前

### 事業期間

令和4年度～（2022年度～）

## 伊万里港コンテナ貨物助成事業

港湾課 31,572千円

### 目的・背景

東南アジア・台湾と輸出入を行う荷主に対しコンテナ貨物助成制度を実施し、重点的に貨物を集積することにより、対象地域との直航航路の誘致を目指す。

### 事業内容

#### ○伊万里港 東南アジア・台湾輸出入コンテナ助成制度

- ・対象：①新たに東南アジア・台湾と輸出入を行う荷主  
②前年度比で東南アジア・台湾との貨物取扱量を増やした荷主 [新設]
- ・事業費：32,512千円  
(負担割合：佐賀県 1/2、伊万里市 1/2)
- ・助成単価：(一般貨物) 15,000円/TEU、  
(冷蔵・冷凍貨物) 20,000円/TEU  
国際フィーダー航路経由※  
(一般貨物) 17,000円/TEU、  
(冷蔵・冷凍貨物) 22,000円/TEU
- ・事務費：15,316千円  
(会計年度任用職員給与費、費用弁償、職員旅費など)



### 事業期間

令和4年度～令和6年度（2022年度～2024年度）

※ 国際フィーダー航路経由とは、神戸港を経由し、東南アジア・台湾などと伊万里港を結ぶ航路を利用するもの

## 市村記念体育館利活用推進事業

文化課 709,495千円  
(債務負担行為限度額 4,187,847千円)

### 目的・背景

文化・芸術施設等が集積している城内エリアに位置する市村記念体育館を、次世代を担う人材を育む文化・芸術体験及び創造的活動の拠点として整備する。

### 事業内容

- ・耐震化、利活用改修工事
- ・工事監理
- ・運営公募支援業務
- ・家屋調査業務 等



### 事業期間

令和元年度～令和7年度  
(2019年度～2025年度)

## 新規 HIZENやきもの文化魅力発信事業

文化課 45,000千円

### 目的・背景

幅広い層が楽しみながらやきもの文化に親しむ機会を創出することで新たなやきものファンを増やし、佐賀県が誇るやきもの文化の振興につなげる。

### 取組内容

- ▶内容  
やきものをテーマとしたクリスマスマーケットの開催
- ▶会場  
アリタセラ (有田町)
- ▶時期  
令和5年11月下旬～12月 (予定)
- ▶事業実施主体  
佐賀県、有田町、有田焼卸団地協同組合等で組織する実行委員会 (令和5年度発足予定)



### 事業期間

令和5年度～令和8年度 (2023年度～2026年度)



## 「はじまりの名護屋城。」プロジェクト

「肥前名護屋」文化資源活用推進事業費  
「黄金の茶室・草庵茶室」魅力発信事業費  
【新規】名護屋城博物館常設展示リニューアル事業費

文化課 165,914千円

### 目的・背景

全国から集まった武将らの交流によって桃山文化が花開き、その後の日本文化発展の「はじまりの地」となった特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」の魅力発信等に取り組み、文化観光の拠点として磨き上げを図る。

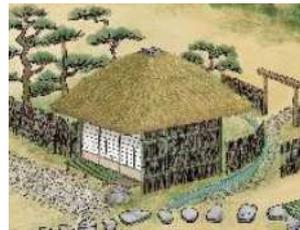
### 事業内容



名護屋城大茶会



周遊サイン整備等



黄金の茶室の魅力発信  
草庵茶室の復元



名護屋城博物館常設展示  
一部リニューアル (設計)

### 事業期間

令和2年度～ (2020年度～)

## 新規 宇宙科学館施設設備整備事業

文化課 476,988千円

### 目的・背景

JAXA (宇宙航空研究開発機構) と連携して、宇宙科学館を最新の宇宙科学・技術を含む内容にリニューアルすることにより、文化・観光・教育の拠点として同館の魅力の磨き上げを図る。

### 事業内容

宇宙発見ゾーンの展示リニューアル



※ 宇宙科学館とスペースパーク (九州佐賀国際空港内) で相互に連携し、来場者促進に取り組む

### 事業期間

令和5年度 (2023年度)

## 新規 佐賀城本丸歴史館企画展開催

文化課 52,474千円  
 (債務負担行為限度額 6,856千円)

### 目的・背景

江藤新平没後150年を契機と捉え、その功績を顕彰する特別展を開催することにより、江藤を“明治国家を創った佐賀の偉人”として再認識してもらい、県民の佐賀への誇りや愛着をより強いものとする。

### 事業内容

- ▶ 開催期間  
令和6年3月15日～5月12日(予定)
- ▶ 開催場所  
佐賀城本丸歴史館
- ▶ 内容
  - ・歴史資料展示
  - ・映像展示、グラフィック展示
  - ・記念講演会、関連イベント 等

#### 歴史資料展示



贈位記



江藤新平肖像写真

#### 映像展示



360°ラウンドシアターイメージ

### 事業期間

令和5年度～令和6年度(2023年度～2024年度)

## 吉野ヶ里遺跡発掘調査情報発信事業

文化課(文化財保護室) 24,095千円

### 目的・背景

未発掘エリア(日吉神社境内地跡)の発掘調査開始を契機として、情報発信や発掘調査体験会の開催等により、吉野ヶ里遺跡の素晴らしさを改めて全国に伝え、来客者数の増加を図る。

### 事業内容

#### 発掘調査の情報発信

- ・発掘現場を展示空間に仕上げたオープンエア・ミュージアムの開設
- ・特設WEBサイトでの発掘情報やイベント情報等の発信



オープンエア・ミュージアム



#### 体験会の実施

- ・発掘調査体験会
- ・整理作業体験会
- ・バックヤードツアー 等



発掘調査体験会



整理作業体験会

#### 発掘情報のリアルタイム配信

- ・定点カメラによる発掘調査のライブ配信
- ・視聴者との対話可能な双方向配信 等

### 事業期間

令和4年度～令和5年度(2022年度～2023年度)

## 新規 佐賀型観光プロダクツ創出事業

### 目的・背景

地域の観光資源の高付加価値化や新たなコンテンツの発掘等により「本物のよさ」を体験できる観光プロダクツを創出し、旅先での体験を重視する個人旅行者の誘客拡大を図る。

観光課 50,631千円

### 事業内容

#### 観光プロダクツ創出支援

取組に係る費用の一部を補助  
補助率：3/4

複数事業者連携(補助上限500万円)  
事業者単体(補助上限300万円)



#### 観光プロダクツ創出プロデュース支援



クラウドファンディング等の  
資金調達・事業実施を成功に  
導くプロデューサーの取組を  
支援

資金調達額の20%(上限100万円)

観光プロダクツ創出



### 事業期間

令和5年度～(2023年度～)

## 新規 アフターDC推進事業

### 目的・背景

DESTINATIONキャンペーンを契機に新たに磨き上げた観光コンテンツを定着化させるとともに、個人旅行者の誘客促進を図る。

観光課 43,800千円

### 事業内容

- 誘客宣伝事業
  - ・旅行会社向けコンテンツ集の作成
  - ・旅行者向け公式ガイドブックの作成
  - ・旅行関係イベントへの出展
  - ・各種PR
- 受入環境整備
  - ・2次交通アクセス対策(バス、タクシー、レンタカー等)
  - ・キャンペーンHP制作
  - ・キャンペーンノベルティ製作
- 観光コンテンツの流通・販売
  - 着地型旅行商品販売サイトでの流通・販売等の委託



### 事業期間

令和5年度(2023年度)

## 新規 SSPスポーツビジネス展開事業

SAGAスポーツピラミッド推進グループ 10,782千円

### 目的・背景

スポーツを活かした事業などに関する企業の潜在的なニーズ、提案等の掘り起こしを進め、県内のスポーツ資源(※)とのマッチングに結びつけ、企業・スポーツ資源の双方にプラスになるスポーツビジネスを創出する。

※スポーツ資源：プロチームが持つブランド、訴求力など

### 事業内容

- ①企業等調査 ②県内プロチーム調査 ③シンポジウム開催

#### 弱み

スポーツビジネスに目を向ける企業が少ない

食品産業 健康産業 ICT 教育 観光 エンタメ



ビジネス可能性

#### 強み

佐賀県はビジネスに活かすスポーツ資源が豊富



プロスポーツなど

弱みをカバー



県内企業の潜在的ニーズの掘り起こし



県外企業からの提案、実証の場の提供



強みとつなげる

### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

## 新規 SSPスポーツ医科学普及事業

SAGAスポーツピラミッド推進グループ 26,201千円

### 目的・背景

国立スポーツ科学センターが示すアスリート用の体力測定に基づく科学的支援を行うとともに、女性アスリート特有の健康問題を解決する枠組みを構築することで、スポーツ医科学に基づいたアスリート育成・支援の環境づくりを行う。

### 事業内容

西九州大学における測定の実施

- ①筋力、最大酸素摂取量などアスリート用体力測定の実施
- ②陸上競技用運動能力測定の実施



女性アスリート支援の枠組み  
アスリートウェルネス協議会(仮)設立

- ①県・県医師会・西九州大学等で協議会設立
- ②女性アスリートへの検査体制の構築
- ③医療機関への研修等の充実



### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

## SAGAサンライズパーク整備事業

SAGAサンライズパーク整備推進課 1,188,177千円

### 目的・背景

SAGA2024国スポ・全障スポの開催を契機として、県民の夢や感動を生み出すスポーツの一大拠点の形成を図るとともに、スポーツ・文化など様々な活動を通じて地域の活力を生み出し、新たな佐賀県の未来を切り拓く「さが躍動」の象徴的なエリアとして整備する。

### 事業内容

#### ハード事業

- ・第二競技場フィールドのウレタン舗装補修
- ・施設案内看板、駐車場標識の追加設置
- ・SAGAプラザ大競技場の照明LED化
- ・管理棟リノベーションに向けた実施設計等

#### ソフト事業

- ・「SAGAアリーナ×歩く」推進・賑わい創出
- ・SAGAアリーナイベント時の交通関係対策等



※整備イメージ図

### 事業期間

令和5年度～令和7年度（2023年度～2025年度）

## SAGA2024開催事業

SAGA2024開催準備事業費  
 (債務負担行為)SAGA2024開催準備事業費  
 SAGA2024開催準備事業費(投資的経費)  
 佐賀・鹿児島エールプロジェクト推進事業費  
 SAGA2024市町準備経費補助  
 SAGA2024競技会を楽しむ環境づくり事業費  
 SAGA2024市町有施設整備事業費補助  
 SAGA2024県有競技施設整備費

SAGA2024総務連携チーム、  
 SAGA2024企画広報チーム、  
 SAGA2024競技運営チーム、  
 SAGA2024施設調整チーム  
 } 2,219,909千円  
 (債務負担行為限度額 422,347千円)

### 目的・背景

SAGA2024国スポ・全障スポへ向け、体育からスポーツに変わる最初の大会として、スポーツの素晴らしさを追求した新しい大会を実現するための準備を推進する。

### 事業内容

開催準備事業	・大会開催に向けた準備及び運営体制の整備 (ボランティア募集・養成、式典準備、広報、競技役員等養成、競技用具整備、県外競技運営準備、全障スポ運営準備、輸送交通・配宿・警備準備等)	1,268,419千円 (債務負担行為) 422,347千円
佐賀・鹿児島エールプロジェクト推進事業	・アスリート、県民及び産業・文化等での鹿児島県との交流促進 (アスリートの交流、ものづくり企業の交流、移住支援での交流等)	19,500千円
市町準備経費補助	・市町が実施するリハーサル大会及び新しい大会に資する取組(競技会の盛り上げ、会場装飾等)への補助	594,767千円
競技会を楽しむ環境づくり	・SAGA2024正式競技全競技の動画配信に向けた実施体制構築 (動画配信サポート(クルー編成・養成、機材調達等)、ICT技術を活用した効率化実証実験)	44,781千円
市町有施設整備費補助	・競技会場となる市町有施設の整備事業に対する補助(5市町9施設) (唐津市文化体育館、嬉野総合運動公園みゆき球場 ほか)	219,157千円
県有競技施設整備	・競技会場となる県有施設の整備等 (佐賀県射撃研修センター、唐津工業高校 ほか)	73,285千円

### 事業期間

平成26年度～令和6年度（2014年度～2024年度）

## 新規 誘致CSO進出支援・地域連携事業

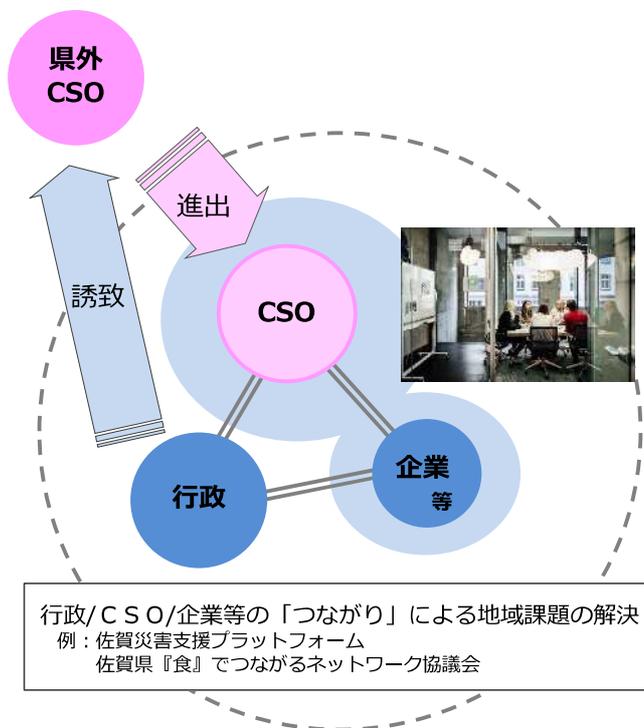
県民協働課 6,200千円

### 目的・背景

複雑・多様化する地域課題に対応するため、県外CSO（市民社会組織）の誘致を推進するとともに、行政や県内外のCSO、企業等の「つながり」を生み出す環境を整備する。

### 事業内容

1. 誘致CSO等協働環境整備  
CSOや企業等が同じ空間で仕事ができるテレワーク環境等の整備を支援  
＜補助率：3/4以内＞（補助上限額5,000千円）
2. CSO進出支援  
県の誘致により県外から進出したCSOに対する進出支援金を支給  
＜交付額：300千円/団体＞
3. 誘致CSO定着・地域課題解決支援  
県外から進出してきたCSOと県内CSO等による地域課題解決に資する取組を支援  
＜補助率：2/3以内＞（補助上限額300千円）



### 事業期間

令和5年度（2023年度）

## 新規 さがすたいるプロジェクト

県民協働課 43,375千円

さがすたいる推進事業費  
さがすたいるSAGA2024事業費補助  
【新規】想いつながるさがすたいる事業費



### 目的・背景

お年寄りや障害のある方、子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく過ごせる、佐賀らしいやさしさのカタチを「さがすたいる」として県民に広げる。

### 事業内容

#### プロモーション

困りごとを抱えている当事者にとって嬉しい設備やサポート（佐賀らしいやさしさのカタチ）をウェブサイト、SNS、テレビ等で情報発信



#### 出前研修

障害のある方等を講師に招いた、交流・実践型出前研修や各種事業へのアドバイス



#### 交流イベント

誰もが一緒に楽しみ、さがすたいるの想いを共感できる県民・当事者参加型の交流イベント



#### 店舗等のバリアフリー化

県内店舗・施設のバリアフリー化等に対する補助  
[さがすたいるSAGA2024事業費補助  
：補助率1/2、補助上限額50万円]



### 事業期間

平成29年度～令和8年度（2017年度～2026年度）

# 交通事故防止対策「SAGA BLUE PROJECT」

くらしの安全安心課(交通事故防止特別対策室) 57,330千円

## 目的・背景

デザインの力を活用した広報啓発を強化し、県民の交通安全に対する行動変容を促すことにより、交通事故防止の一層の推進を図る。

## 事業内容

### (重点ターゲット)

- ・事故を起こしやすい若者と高齢者
- ・死亡事故に遭いやすい高齢者

### (重点広報項目)

- ・スマホ(脇見)運転の禁止
- ・安全確認の徹底
- ・横断歩道での歩行者保護
- ・ハンドサイン横断
- ・夜間の明るい服、反射材の着用 等

### (イベントの実施)

- ・高齢者へ『反射材など』広報啓発グッズの配布
- ・子ども向けワークショップの開催
- ・若者参加イベントでの啓発 等

### (各種媒体の活用)

- ・SNS、Webによる発信
- ・テレビ、ケーブルテレビ、ラジオCM 等



幼稚園でのワークショップ



若者への広報



高齢者へのグッズ配布



佐賀県交通安全キャラクターマニャー

交差点のカラー化

## 事業期間

令和元年度～令和8年度(2019年度～2026年度)

# 新規 ゼロカーボン推進事業

環境課 16,904千円

## 目的・背景

マスメディアやプロスポーツチームと協働した啓発・広報を通じて、県民一人一人が地球温暖化問題を自分事として捉え、行動変容につなげることを促し、県内の温室効果ガス削減を図る。

## 事業内容

### 脱炭素ライフスタイルの発信

民放テレビ局との協働

- ・情報番組における脱炭素ライフスタイルに資する情報の発信

#### 【家庭でできる取組】



#### 【歩くライフスタイルの推進】

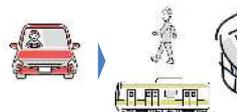


### SAGANゼロカーボンチャレンジマッチ

Jリーグ(サガン鳥栖)との協働

- ・ホームゲームの来場者を対象とした行動変容の実践(公共交通機関等の利用促進、ごみの削減)
- ・情報発信

#### 【交通手段】



自家用車 → 公共交通機関へ

#### 【ごみの削減】



使い捨て → リューザブルへ

## 事業期間

令和5年度～令和8年度(2023年度～2026年度)

# OPEN-AIR佐賀・北山国民休養地施設整備事業

有明海再生・自然環境課 233,402千円

## 目的・背景

佐賀の多彩な自然の魅力を楽しむスタイル「OPEN-AIR佐賀(※)」の環境整備の一環として、北山キャンプ場を新しい魅力ある施設として再整備し、利用者の満足度向上を図る。

## 事業内容

- シャワー・トイレ棟、サニタリー棟新築
- サイン整備
- 場内舗装工 等

▼エリアサイン (イメージ)



▼シャワー・トイレ、サニタリー棟 (イメージ)



## 事業期間

令和3年度～令和5年度 (2021年度～2023年度)

※ OPEN-AIR佐賀：佐賀の様々な魅力の体験、感染リスクの少ない観光スタイル、多彩な自然体験、新たな生活スタイル、場所や時間が自由になる働き方などを発信し、交流人口の増加等につなげる取組

# 新規「プラスマLifeさが」推進事業

循環型社会推進課 6,000千円

## 目的・背景

県民・企業・行政等が連携し、県民運動としての「プラスマLifeさが(※)」への取組を強化することにより、海洋プラスチックなど地球規模で課題となっているプラスチックごみの削減・リサイクルを推進する。

## 事業内容

- 離島の子どもたちによる海岸漂着物の調査・研究発表
- 県内アーティストと子どもたちによる海ごみを使ったアート作品制作
- プラスマLifeさが強調月間(10月)での集中的な広報、イベント開催
- 教育資材の製作 等

各主体の連携による取組の輪の拡がり  
一人一人のライフスタイルの変革



## 事業期間

令和5年度～令和8年度 (2023年度～2026年度)

※プラスマLifeさが  
すべての県民がプラスチックごみ問題に対する理解を深め、主体的にプラスチックごみの削減に取り組んでいくことを目指す県民運動の名称。森川海人プロジェクトの一環としての取組

## 新規 佐賀県感染症対応力強化事業

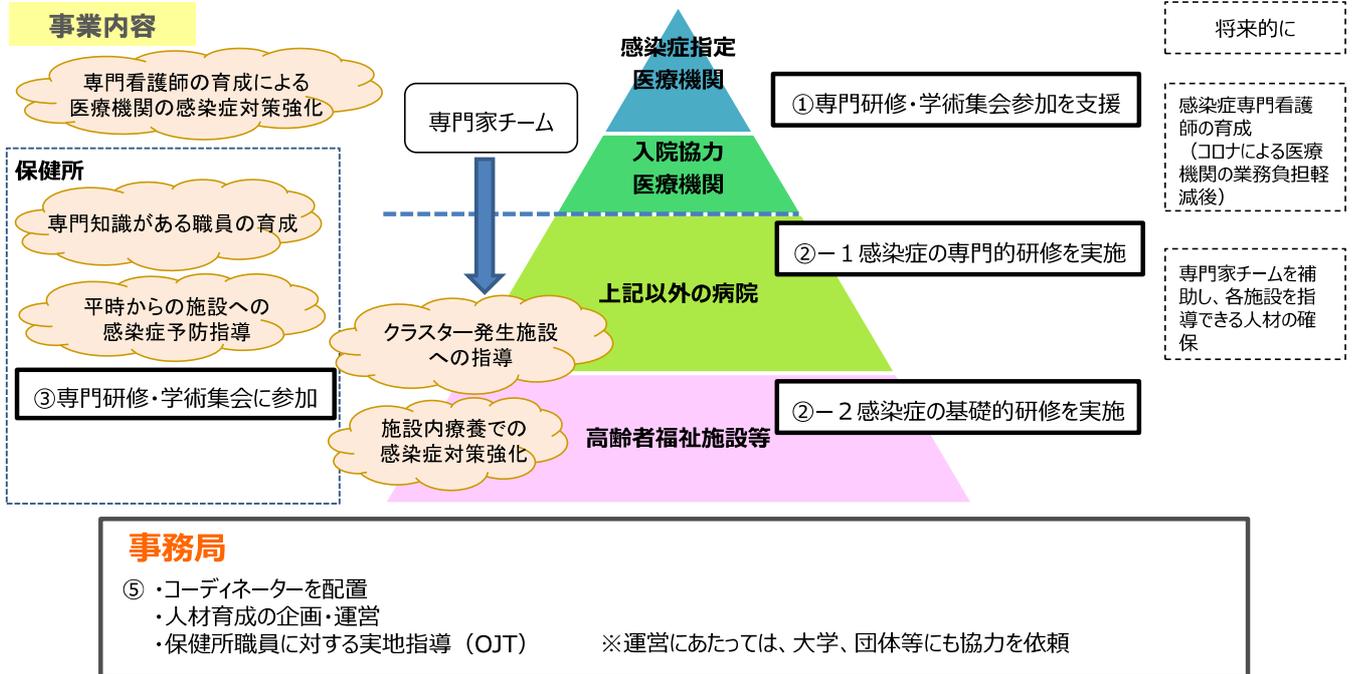
新規 佐賀県感染症対応力強化事業費  
衛生関係職員等人材育成費

健康福祉政策課 7,069千円

### 目的・背景

現行の新型コロナウイルス感染症対策に加え、今後起こりうる新興感染症のパンデミックに備え、保健所及び県内医療機関等の職員に対し、研修費用の助成やセミナー開催、実地指導を行うことで、佐賀県の感染症に係る対応能力の底上げを図る。

### 事業内容



### 事業期間

令和5年度～令和8年度 (2023年度～2026年度)

## 新規 小児がん患者等家族交通費支援事業

健康福祉政策課(がん撲滅特別対策室) 4,389千円

### 目的・背景

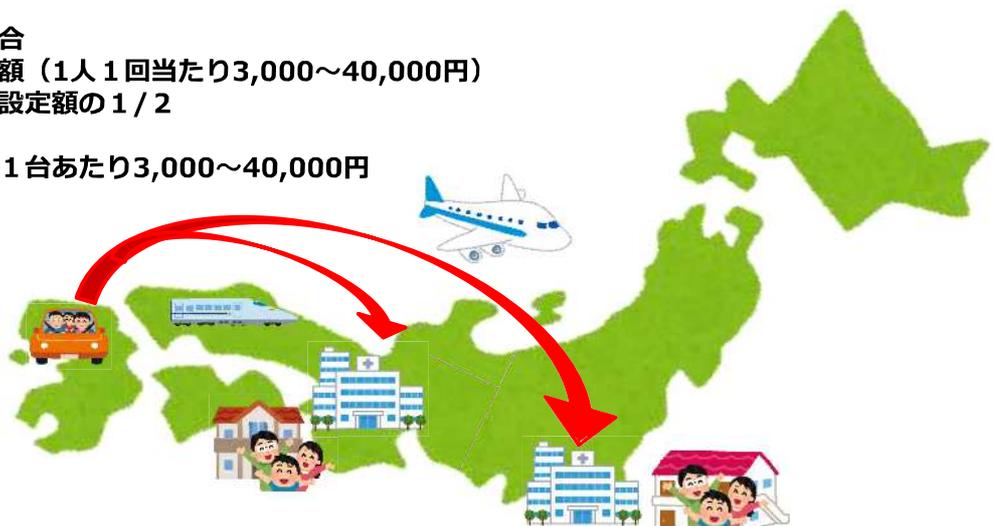
遠方で入院治療を受ける小児がん患者等の家族の経済的負担を軽減するために交通費を支援し、安心して治療できる環境を整備する。

### 事業内容

小児がん患者等とその家族に対し、遠方での入院治療に伴う交通費を支援

#### 【支援額】

- ・公共交通機関の場合  
行先毎に定めた額 (1人1回当たり3,000～40,000円)  
※小学生以下は設定額の1/2
- ・車の場合  
行先に応じて、1台あたり3,000～40,000円



### 事業期間

令和5年度～ (2023年度～)

# 新型コロナウイルス感染症対応医療提供体制強化事業

医務課 18,808,627千円

## 目的・背景

新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、県民が症状に応じて医療機関・宿泊療養施設等で治療・療養できる環境を整備することで、適切な医療が提供できる体制を維持し、日常の救急体制と通常医療を守る。

## 事業内容

重症・中等症患者の医療体制の確保

- ・受入可能病床数を確保するための空床補償
- ・感染症患者の受入れに必要な医療用物資の確保
- ・患者の状態に応じて搬送先を調整する体制の確保
- ・クラスター発生施設等への医療チームの派遣
- ・感染症専門家を医療機関に派遣し、院内感染防止対策を強化



軽症・無症状者の療養体制の確保

- ・宿泊療養施設の運営
- ・自宅療養支援
- ・臨時医療施設の運営
- ・外来往診診療体制の強化



▶ コロナ医療と救急・通常診療を両立

## 事業期間

令和2年度～令和5年度（2020年度～2023年度）

## 新規 多久・小城地区新公立病院施設整備費補助

医務課 378,000千円  
（債務負担行為限度額 567,000千円）

## 目的・背景

地域医療構想（※）の推進のため、多久市立病院と小城市民病院を統合した新病院の建設に対し、補助を行う。

（※）団塊の世代が全員後期高齢者となる令和7年（2025年）を念頭に医療需要に対応した効率的かつ質の高い医療提供体制の確保を図るもの

## 事業内容

多久市立病院(105床)



小城市民病院(99床)



新公立病院(140床)



- ・新興感染症への対応強化  
⇒陰圧室の整備等
- ・救急医療及び外来医療の強化  
⇒総合診療科等の新設
- ・在宅医療の強化  
⇒訪問診療の実施、訪問看護ステーションの体制強化
- ・災害医療の強化  
⇒DMAT(災害派遣医療チーム)の増強

## 事業期間

令和3年度～令和6年度（2021年度～2024年度）

## 医療的ケア児安心・安全な在宅生活サポート事業

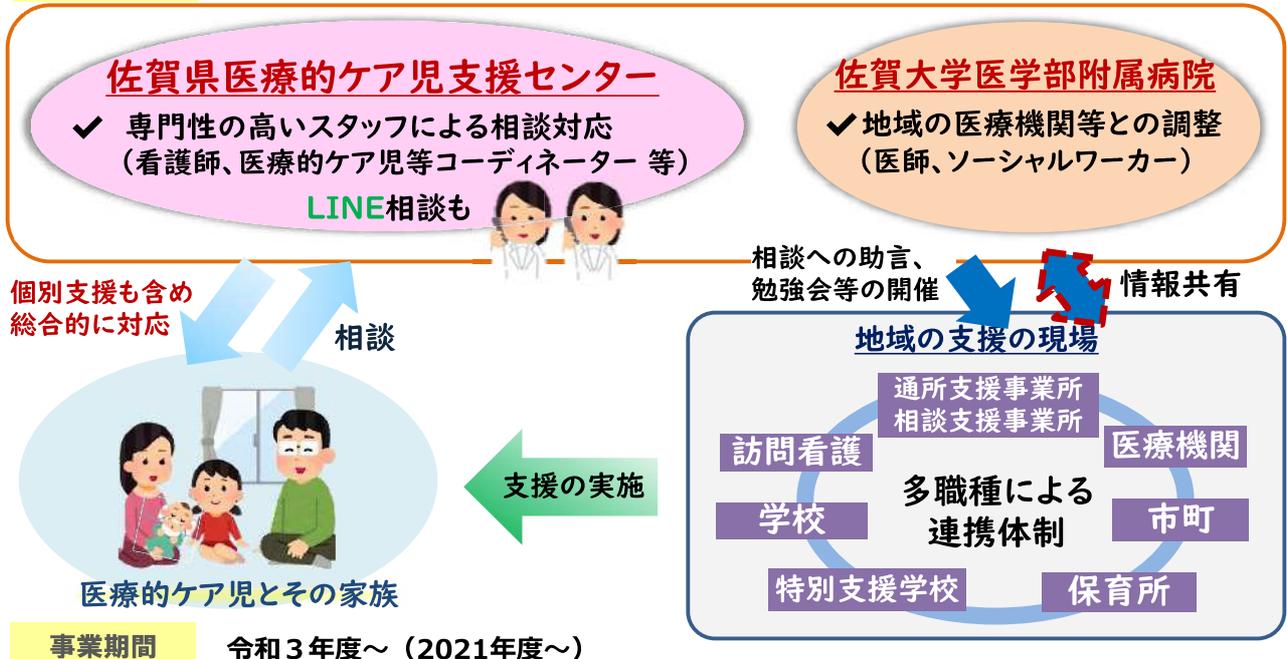
医療的ケア児等のための小児地域医療支援事業費  
小児在宅医療従事者等実技研修事業費  
医療的ケア児安心・安全な在宅生活サポート事業費  
障害者地域生活支援ネットワーク推進事業費  
特別支援学校における医療的ケア支援事業費

医務課、障害福祉課、教育振興課(特別教育支援室) 23,358千円

### 目的・背景

令和4年4月に設置した佐賀県医療的ケア児支援センターの体制強化及び医療機関等との連携強化により、医療的ケア児やその家族にとって安心・安全な在宅生活環境の整備促進を図る。

### 事業内容



## 新規 薬剤師卒後教育環境整備事業

地域薬剤師リカレント教育環境整備事業費補助

薬務課 5,124千円

### 目的・背景

佐賀大学医学部附属病院が実施するリカレント教育の環境の整備に対する支援を行うことで、地域包括ケアシステムの中で活躍できる薬剤師の育成・確保を図る。

### 事業内容

- リカレント教育の環境整備に係る費用の一部を補助
- ・指導薬剤師等の配置
  - ・佐賀大学医学部附属病院薬剤部の薬剤師を指導薬剤師に育成
  - ・地域の薬剤師を研修生として受け入れ、リカレント教育を実施
  - ・キャリア支援セミナー等の開催



事業期間 令和5年度～令和7年度(2023年度～2025年度)

## 新規 児童思春期精神科医療体制強化事業

障害福祉課 16,627千円

### 目的・背景

児童思春期の入院が必要な症状のある患者の受け入れ拡大のため、県内で唯一児童思春期専門病棟を持つ肥前精神医療センターの入院医療体制の強化を図る。

### 事業内容

児童思春期病棟において特に職員配置の少ない平日夜間及び休日の入院医療体制を強化

- 専門医による緊急時の対応体制の整備
- 患者受け入れに必要な看護職員の配置



早期入院治療により  
重症化せずに短期間で退院

### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

## 新規 子育てし大県“さが”推進事業

新規 幸せの情報発信事業費  
 新規 子どもが育つ県“さが”事業費

こども未来課 37,874千円

### 目的・背景

県内の新生児がいる全ての世帯に「子育てし大県“さが”」の情報を直接届けるとともに、県内園児が国際基準の施設等を体験する機会を提供することで、子育てし大県“さが”の推進を図る。

### 事業内容

○子育てし大県“さが”の取組を紹介する小冊子等（メッセージやささやかなギフトを含む）を配布

○対象：県内の新生児がいるすべての世帯



○国際基準の施設「SAGAアクア」  
など各施設での本物体験の機会を提供

○参加対象：県内の全園児（年長5歳児）



### 事業期間

令和5年度～（2023年度～）

## 新規 先天性代謝異常等検査事業

こども家庭課 31,537千円

### 目的・背景

現行の20疾患の先天性代謝異常等検査(※)に、検査方法があり、治療が可能な希少難治性疾患を新たに加え、県独自の公費負担により無料で検査を受けられるようにすることで早期発見・早期治療につなげる。

### 事業内容

発症すると重症化し命にかかわる重大な疾患

#### ✓ 脊髄性筋萎縮症 (SMA)

- ・筋力の低下や筋萎縮が起こる進行性難病
- ・発症前に治療することで、通常の成長発達が可能

#### ✓ 重症複合免疫不全症 (SCID)

- ・免疫の異常により、生後数か月以内に様々な重症感染症を発症
- ・ロタウイルスワクチンの定期接種が開始され、重篤な副反応を引き起こす危険性が増加
- ・発症前に治療することで、完治が見込まれる



県独自の  
公費負担により  
無料で検査を  
受けられる

※ 先天性代謝異常等検査：先天性の代謝異常や内分泌異常を発見する検査（現在20疾患が公費対象）

### 事業期間

令和5年度～（2023年度～）

## 新規 佐賀の事業をつなぐプロジェクト事業

産業政策課 106,912千円

### 目的・背景

経営者が事業承継の重要性を認識し、事業を後世につなぐ機運を醸成するとともに、第三者による承継に対する奨励金を創設し、県内中小企業の円滑な事業承継を促進することで、地域経済の持続的な発展を図る。

### 事業内容

- 事業承継の機運醸成
  - ・シンポジウムの開催、事業承継事例の動画作成・広報 等
- 事業承継企業への具体的支援
  - ・事業引継ぎ奨励金  
第三者による承継が成約した場合に、譲渡・譲受の両事業者に対し各50万円の奨励金を交付 ※移住者が譲り受ける場合は50万円加算
  - ・事業承継円滑化補助金  
事業承継を行う事業者に対し設備投資等の経費を補助  
補助率：1/2、補助上限額：100万円



### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

# Startupの聖地SAGA推進事業

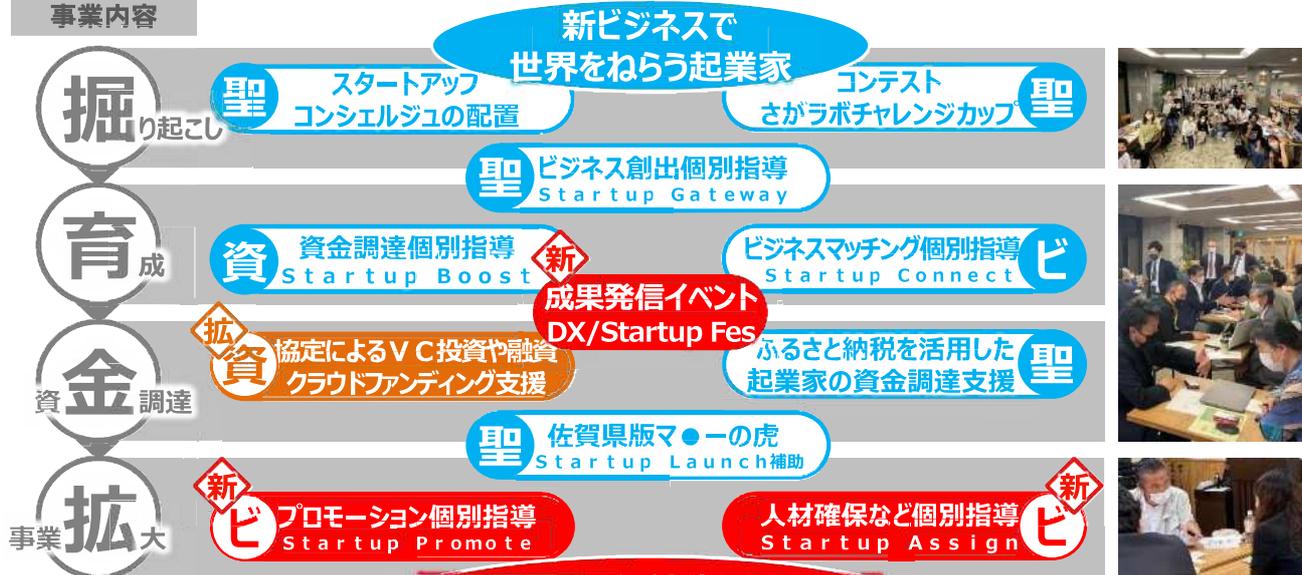
Startupの聖地SAGA推進事業  
資金調達支援事業  
ビジネス確立支援事業

産業政策課(DX・スタートアップ推進室) 121,856千円

## 目的・背景

起業家の発掘から育成、事業規模の拡大まで一貫した支援の仕組みを創設することにより、「佐賀から全国や世界をねらう企業」を輩出する「起業の聖地」を目指す。

## 事業内容



優れたシードを継続的に輩出する仕組みや仕掛けを設けて「聖地」へ

## 事業期間

令和3年度～令和8年度 (2021年度～2026年度)

聖…Startupの聖地SAGA事業  
 資…資金調達支援事業  
 ビ…ビジネス確立支援事業

# 産業DXのフロントランナーSAGA推進事業

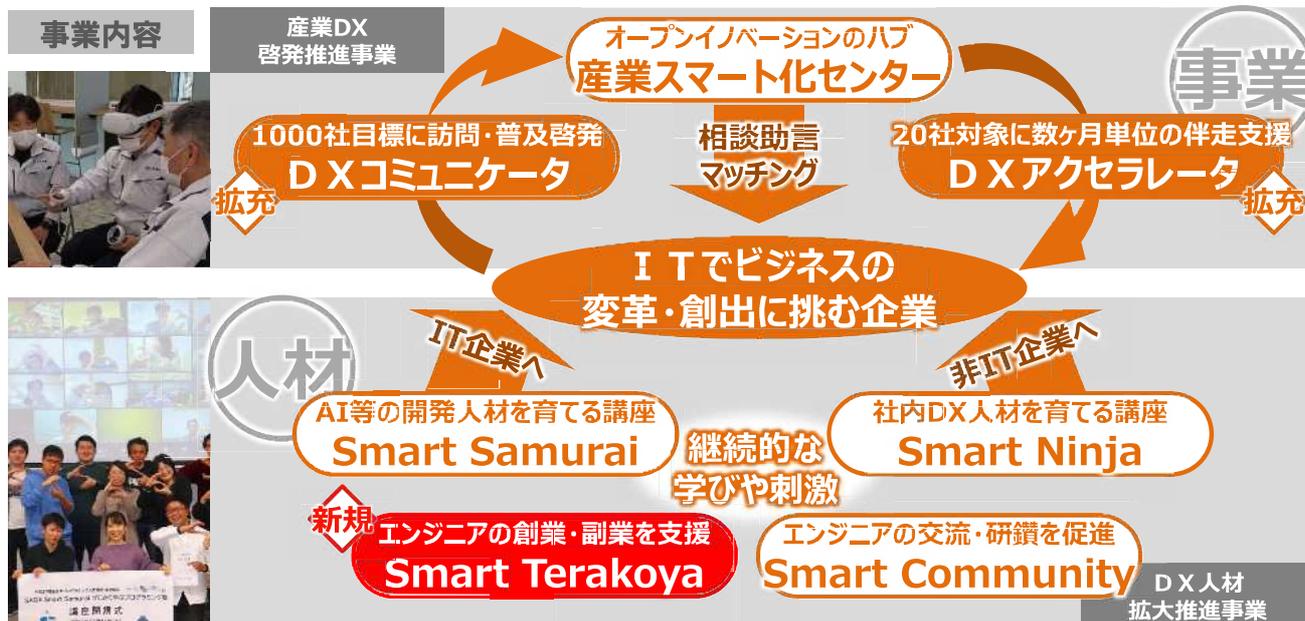
産業DX啓発推進事業費  
DX人材拡大推進事業費

産業政策課(DX・スタートアップ推進室) 168,645千円

## 目的・背景

県内企業が産業DXの潮流をリードする存在となれるよう、産業スマート化センターを核にデジタル技術の利活用を促すとともに、その担い手となるDX人材の育成・確保に取り組む。

## 事業内容



## 事業期間

令和3年度～令和8年度 (2021年度～2026年度)

## さが半導体魅力発信事業

ものづくり産業課 25,411千円

### 目的・背景

県内半導体産業の更なる振興に向けて、首都圏等で開催される大規模な国際展示会に出展するとともに、半導体産業の魅力を広く県民に発信することにより、県内企業の取引拡大と半導体人材の確保を図る。

### 事業内容

- 県内企業の取引拡大
  - ・ 首都圏等で開催される大規模な国際展示会への佐賀県ブース出展
  - ・ 半導体業界の最新動向や技術情報の提供などを行うトップセミナーの開催
- 魅力発信、半導体人材の確保
  - ・ オープンファクトリー（工場見学ツアー）の実施
  - ・ 半導体が切り拓く未来などをテーマとしたZ世代シンポジウムの開催



国際展示会への出展



オープンファクトリーの実施



シンポジウムの開催

### 事業期間

令和4年度～令和8年度（2022年度～2026年度）

## コスメイノベーションラボ事業

ものづくり産業課(コスメティック構想推進室) 57,300千円

### 目的・背景

化粧品に関する新たな技術を開発するとともに、美容・健康業界で活躍できる人材を育成する環境を整備することにより、美と健康に関するコスメティック産業の集積を図る。

### 事業内容

化粧品の先端技術の研究分野において実績のある専門家を中心に、佐賀大学と連携しながら化粧品に関する共同研究や人材育成のための取組を行う。

- 共同研究：プロジェクトリーダー、研究員等の配置  
成分分析装置の整備
- 人材育成：化粧品セミナー、若手研究者の指導

### 事業期間

令和3年度～令和8年度  
(2021年度～2026年度)



## 新規 グリーントランスフォーメーション推進事業

新エネルギー産業課 28,936千円

### 目的・背景

2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、温暖化対策を経済の成長・発展につなげるグリーントランスフォーメーション（GX）のモデル企業を創出することにより、県内企業のGXの取組を推進する。

### 事業内容

県内企業を対象とするGX啓発セミナーを開催するとともに、支援対象企業を公募・選定し、脱炭素化に向けた取組を伴走支援することにより、GXのモデルとなる企業を創出する。

<支援メニュー（例）>

- ◆CO2排出量を算定し、現状・課題の整理
- ◆削減計画等の全体プログラム策定
- ◆各企業に沿った再エネ・省エネ技術サポート
- ◆ブランド価値を生かした経営戦略のデザイン



## 県営産業用地造成事業

企業立地課 2,808,600千円

### 目的・背景

経済効果の大きな企業の立地を促進し、若者等の県内定着や地域経済の活性化を図るため、大規模な県営産業団地を整備する。

### 事業内容

- 佐賀コロニー跡地
  - ・令和5年度：造成工事等
  - ・所在地：佐賀市大和町川上
  - ・面積：約14.5ha
- 吉野ヶ里町
  - ・令和5年度：造成工事等
  - ・所在地：吉野ヶ里町立野・豆田
  - ・面積：約27ha

### 事業期間

令和元年度～（2019年度～）

### 位置図



## 新規 EU・アジア食市場開拓ハンズオン支援事業

流通・貿易課 41,966千円

### 目的・背景

EUやアジア市場をターゲットに新たな市場開拓や更なる販路拡大に取り組む県内食品事業者に対し、商社等と連携したハンズオン支援等を行うことで、県産品の継続的な輸出につなげる。

### 事業内容

#### 【ハンズオン支援】

内容	予算額
海外販売網やマーケティング力を持つ商社等と連携し、県内食品事業者に対して、サンプル輸出、テスト販売、課題の分析、改善などのハンズオン支援を実施	24,112

#### 【海外展開経費に対する支援】

内容	予算額
対象企業：県内食品事業者 補助対象：海外展開に要する経費 補助率：2/3以内 補助上限：EU 600千円/社 アジア 400千円/社	17,854



※ ハンズオン支援：各事業者の状況に応じたきめ細かな助言、課題解決策を提案するなどの支援

### 事業期間

令和5年度～令和7年度（2023年度～2025年度）

## さが園芸888運動関連事業

流通・貿易課、農業経営課、園芸農産課、農地整備課 2,735,281千円

### 目的・背景

大規模経営にステップアップする経営体への支援や、新規就農者等の確保・育成、労働力を補完し合うシステムづくり、担い手の確保に有効な基盤整備、販売対策の強化などに取り組むことにより、園芸農業産出額の向上を図る。

なお、本事業により、令和10年度までに園芸農業産出額を888億円とすることを目指す。

### 事業内容

施設・機械整備、取組への支援等

- 園芸用施設・機械の整備に対する助成【拡充】
- 収量・品質の向上や新たな産地づくりに向けた取組に対する助成等

新技術の開発・実証

- 「いちごさん」の高収量化・高品質化技術の確立
- 施設野菜の環境データ自動分析・収量予測システムの開発等

新規就農者の確保・育成

- トレーニングファームの追加整備に対する助成【新規】
- トレーナー制等新規就農者受け入れ体制の整備に対する助成【新規】

労働力確保

- 労働力補完モデルの取組支援【新規】

企業・法人参入

- 企業・法人等参入の推進支援【新規】

農地等の生産基盤の整備

- 市町が行う園芸団地整備に対する支援
- 規模拡大や法人参入に向けた基盤整備の推進

販売対策の強化

- 生産者と消費者等とのマッチングによる販路開拓支援
- 「いちごさん」「にじゅうまる」のブランド力向上のためのプロモーション



### 事業期間

令和元年度～（2019年度～）

# 佐賀県内水対策プロジェクト(プロジェクトIF)

農業保険加入推進事業費  
 多面的機能支払費  
 農村地域防災減災事業費  
 農地防災交付金事業費(長寿命化防災減災事業)  
 災害対応機器等整備費  
 広域河川改修費  
 広域河川改修費(河川激甚災害対策特別緊急事業)  
 河川保全費  
 流域治水推進事業費

生産者支援課、農山漁村課  
 河川砂防課 3,604,973千円

## 目的・背景

令和元年佐賀豪雨、令和3年8月豪雨などの気候変動型の災害に対応するため、様々な内水氾濫対策を実施する。

## 事業内容

人命等を **守** る

- 農業用機械の保険への加入促進のための広報

内水を **貯** める

- 田んぼダムの推進
- クリークの護岸整備
- クリークの水門操作の省力化、安全化
- ため池の緊急放流ゲート操作の遠隔化

内水を **流** す

- 排水機場のポンプ増設
- 排水機場の耐水化
- 河川整備、浚渫・伐採等



事業期間 令和3年度～(2021年度～)

# 新規 有明海ノリ養殖対策事業

【新規】漁業被害対策特別資金利子補給  
 【新規】(債務負担行為)漁業被害対策特別資金利子補給  
 【新規】さがの水産資源回復促進事業費  
 有明海水産資源回復技術確立事業費

生産者支援課 8,275千円  
 水産課 70,953千円  
 (債務負担行為限度額 41,534千円)

## 目的・背景

有明海において、水産資源の回復などによるノリ色落ち被害の軽減に取り組むとともに、資金繰りが困難となった漁家に対する資金対策を講じることにより、漁家経営の安定につなげる。

## 事業内容

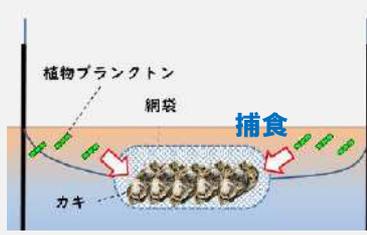
### 【ノリ色落ち被害軽減対策】

カキ設置  
 (R4予備費: 20,000千円)

漁場環境改善、母集団の創出  
 (R5当初: 70,953千円)

### 【漁家経営対策】

特別資金利子補給  
 (R5当初8,275千円、債務負担41,534千円)



- 海底耕うん → 二枚貝が棲みよい環境づくり
- サルボウ種苗の放流 → 母集団形成による資源回復の促進

改善 + 放流

経営が悪化した漁家が借り入れる特別資金に対して利子補給を行う  
 【貸付対象者】 水揚高が過去3年平均に対して、20%以上減少している者  
 【貸付期限】 7年以内(うち据置2年以内)  
 【貸付利率】 貸付後3年は無利子  
 【融資枠】 15億円  
 ※その他、既往債務の条件変更に対応

事業期間 令和4年度～(2022年度～)

## 新規 さがの水産資源回復促進事業

【新規】 さがの水産資源回復促進事業費  
有明海水産資源回復技術確立事業費

水産課 90,922千円

### 目的・背景

玄海・有明海の両海域において、総合的な漁場環境改善対策を講じることにより、漁場機能の回復に取り組む。

### 事業内容

・さがの2つの海の環境に応じた対策を実施。

#### 玄海

- ガンガゼ※1等の駆除
  - ・海藻が育ちやすい環境づくり
  - ・磯根資源が棲みよい環境づくり
- アカウニ種苗の放流
  - ・母集団の創出による資源回復の促進



#### 有明海 ※2

- 海底耕うん
  - ・二枚貝が棲みよい環境づくり
- サルボウ種苗の放流
  - ・母集団の創出による資源回復の促進



※1：藻場を食害する南方系のウニ（食用に適さない）  
※2：有明海地区の内容は、前頁のノリ色落ち被害軽減対策の再掲

### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

## 新規 吉野ヶ里歴史公園拠点整備事業

まちづくり課 368,000千円  
（債務負担行為限度額 552,000千円）

### 目的・背景

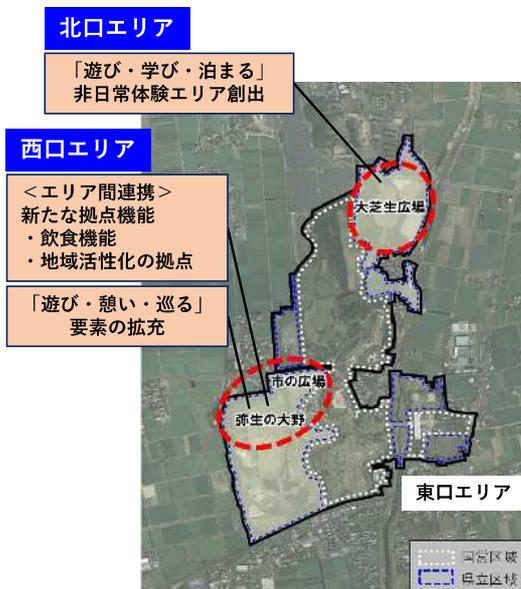
吉野ヶ里歴史公園の魅力をもっと高めるため、指定管理による公園管理に加え、新たに民間活力を導入した官民連携による施設の整備及び管理を行い、地域と連携した利活用により地域活性化の拠点となる公園を目指す。

### 事業内容

ノウハウやアイデアを有する民間事業者による公園施設（拠点施設、園路等）の整備に対する負担金（上限額 920,000千円）

### 事業期間

令和5年度～令和6年度（2023年度～2024年度）



### 官民連携事例



## 県立夜間中学設置事業

教育総務課 19,647千円  
教育振興課 18,631千円

### 目的・背景

県立夜間中学の開校準備のための教室等の改修工事及び入学希望者を対象とした説明会や体験入学等を行う。

### 事業内容

- 開校時期 令和6年4月
- 校名 佐賀県立彩志<sup>さいし</sup>学舎中学校（佐賀県立学校設置条例の一部を改正する条例を上程）
- 設置場所 佐賀北高等学校通信制校舎内

#### 内部改修工事

・普通教室、特別教室の内部改修工事 等  
（移動間仕切り工事、床OAフロア工事、電話工事等）

#### 生徒募集等

・入学希望者を対象とした説明会、体験入学の実施等、開校に必要な準備

#### 設備整備

・開校に必要なとなる設備の整備（机、椅子等の備品等）

#### 職員研修等

・指導方法等のノウハウの習得



事業期間 令和5年度（2023年度）

## 新規 県立高校普通科改革推進事業

教育振興課 4,792千円

### 目的・背景

県立高校普通科において、社会のニーズや生徒の興味・関心を踏まえ、学科等の見直しに取り組むことにより、高校の特色化や魅力化を推進し、県内外からの志願者の増加を図るとともに、地域社会に有為な人材を育成・輩出する。

### 事業内容

普通科の見直しに取り組む学校をモデル校に指定し、見直しに向けた取組を支援する。

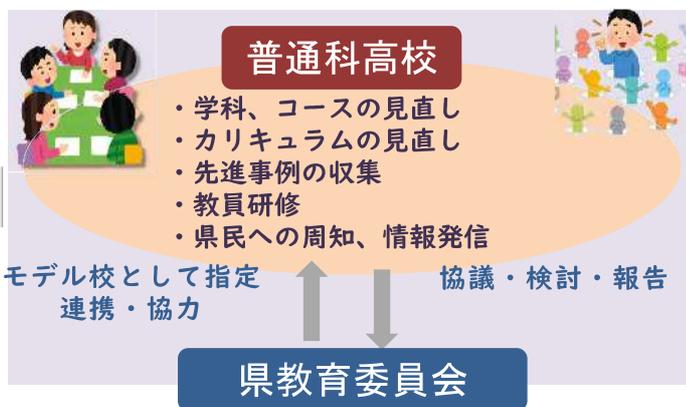
<高校生>

興味・関心に  
応じた教育の実現

生徒の資質・能力の  
向上

<他高校>

普通科改革促進



<小中学生>  
<保護者等>

高校の魅力  
再発見

志願者増

対象校 佐賀東高等学校、唐津西高等学校、鹿島高等学校

事業期間 令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

## 新規 小学校5年生の少人数数学級の実現

教育総務課、教職員課 158,336千円

### 目的・背景

国に先駆け、県独自に小学校5年生において少人数数学級を実現し、よりきめ細かな指導のための環境整備を行うことで、児童一人ひとりの成長をサポートするとともに、夢や目標を実現しようとする子どもたちを応援する。

### 事業内容

#### 【対象となる学校】

小学校5年生において、1クラスあたりの児童数が36人以上の学校

#### 【配置予定】

22校に県独自に加配（令和5年1月時点）

### 事業期間

令和5年度（2023年度）



## 新規 SAGA教育DXスタートアップ推進事業

学校教育課（プロジェクトE推進室） 6,973千円

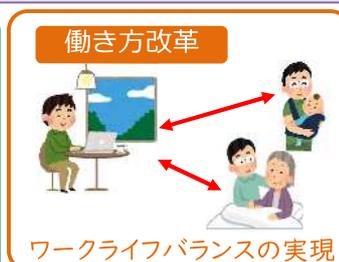
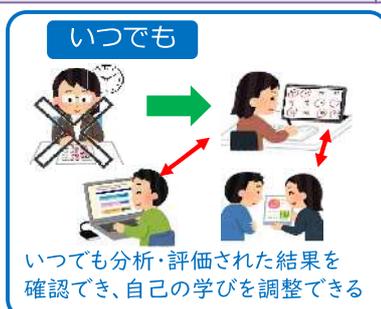
### 目的・背景

佐賀県の教育DXの目指す姿である子ども主体の学び「誰もが いつでも どこでも 誰とでも 自分らしく学べる佐賀県」の実現を目指し、教育DXのスタートアップとして、ICTの更なる活用とデジタル化を推進する。

### 事業内容

デジタル化により高い効果が見込める仕組みを導入し、展開に向けて検証する。

事業項目	内容	導入する仕組み
① 学習データのクラウド化（試行）	学校外においても学校内と同じ学習環境を確保するためのクラウド化	どこでも授業及び学習が可能なクラウドソフト(M365等)【1校】
② デジタル採点活用システム（試行）	デジタルによる効率的な採点と学習者自身による学習データの活用	いつでも分析・評価結果が確認できるデジタル採点システム【3校】
③ テレワークの検証	ワークライフバランスの実現に対応できる環境の整備	教師の多様な働き方を支援するテレワークシステム【3校】



### 事業期間

令和5年度～令和8年度（2023年度～2026年度）

# SAGA部活推進事業

保健体育課 32,273千円

## 目的・背景

学校と地域の連携を深めた新たな部活動のスタイル「SAGA部活」の体制を整備することにより、生徒及び指導者がより活躍できる場を確保し、スポーツ及び文化芸術の振興を図る。

## 事業内容

学校の教育活動と連動しているなどの  
メリットがある**学校部活動**の活動 <学校型>



一貫指導体制などのメリットがある  
**地域クラブ**の活動 <地域型>

## 学校と地域が連携・融合した活動 <連携・融合型>



## 事業期間

令和4年度～令和7年度（2022年度～2025年度）